

自己評価報告書

平成23年 4月 1日現在

機関番号：32612

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20320040

研究課題名（和文） 日本国外に現存する日本漢籍の総合的研究

研究課題名（英文） A Study of Chinese Books Exported from Japan

研究代表者

佐藤 道生（SATO MICHIO）

慶應義塾大学・文学部・教授

研究者番号：60215853

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：書誌学・文献学・日本漢学

1. 研究計画の概要

本研究は、日本漢籍（日本で用いられた漢籍の意。日本で書写或いは刊行された漢籍（日本人の著作を含む）及び中国・朝鮮で書写或いは刊行された漢籍で日本に将来されたものを総称して言う）の中で明治期以降に海外に流出し、現在も海外に所蔵されるものを網羅的に調査し、1、所蔵機関ごとにその目録を作成し、2、書籍一点ごとに書誌情報を示し、3、善本と考えられるものについては詳細な解題を付することを目的とする。

2. 研究の進捗状況

2008年度から2010年度までの3年間に調査を行なった日本漢籍所蔵機関は以下のとおり。

米国・シカゴ大学東アジア図書館

米国・ニューベリー図書館

米国・フィールド博物館図書室

米国・カリフォルニア大学バークレイ校東アジア図書館

英国・大英図書館

中国・中国国家図書館

中国・科学院図書館

中国・北京大学図書館

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している

上記所蔵機関の内、米国の4箇所についてはすでに9割方の書誌調査を終え、2011年度中に目録を完成できる見通しである。大英図書館の蔵書については既存の目録があるので、本研究ではこれを活用して、書誌情報・善本解題の作成を行なっている。書誌調査は全体の6割が、解題は2割が終わっており、完成までにあと3年を要する見込みである。中国の諸機関の蔵書については、調査を始めたばかりである。

4. 今後の研究の推進方策

所蔵機関ごとの分類目録・書誌情報・善本解題を完成して後は、善本の翻印、或いは影印を行なうことが望ましいと考えている。これによって、日本国内に存在する資料の補完が図られ、研究の進展が促されるであろう。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計7件)

住吉朋彦、「『千家詩選』と『新選集』 国清寺旧蔵本をめぐって」, 斯道文庫論集、査読無、第45輯、2011年、p.99-138

堀川貴司、「翻刻 建仁寺両足院蔵『新選分類集諸家詩巻』付・同系統他本による補遺

『新選集』『新編集』研究その一」, 斯道文庫論集、査読無、第45輯、2011年、p.53-98

堀川貴司、「『覆篋集』解題と翻刻」, 花園大学国際禅学研究所論叢、査読無、第6号、2011年、p.37-62

佐藤道生、「藤原道長の漢籍蒐集」, 単行書『名だたる蔵書家、隠れた蔵書家』, 査読無、2010年、p.15-28

住吉朋彦、「古活字本『古今韻会挙要』考」, 斯道文庫論集、査読無、第44輯、2010年、p.159-195

佐藤道生、「故事の発掘、故事の開拓」, 隔月刊文学、査読無、第10巻第3号、2009年、p.59-69

住吉朋彦、「日本漢学史における五山版」, 単行書『中国 社会と文化』, 査読無、2009年、p.224-249

[学会発表](計1件)

佐藤道生、「平安時代に於ける『文選集注』の受容」, 日本中国学会第62回大会、2010年10月9日、広島大学

[図書](計0件)

[産業財産権]

出願状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

取得状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]